

獅子の座（1953）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 124分
初公開日 1953/06/03

【解説】
能楽シテ方宝生流の家に生まれた俳人の松本たかしによる小説『初神鳴』をもとに、伊藤大輔が脚本・監督を務めた時代劇。田中澄江が共同で脚本を執筆した。音楽は團伊玖磨。子役時代の加藤（津川）雅彦の熱演が光る。
弘化五年（1848年）、十五代代宝生流宗家の宝生彌五郎に弘化勸進能の開催が許可された。時の将軍、徳川家慶も見ることになっているため、失敗は許されない。演目「石橋」に出演する長男の石之助は、両親からの厳しい稽古に押しつぶされ、雷鳴を極端に恐れるようになってしまう。いよいよ勸進能初日の出番を迎えるが、黒雲から鳴り響く雷を恐れた石之助が失踪。狂言「墨塗」の裏で、必死の搜索が行われる。そしていよいよ「石橋」の出が迫り…。

【クレジット】
監督 伊藤大輔
企画 亀田耕司
原作 松本たかし （『初神鳴』）
脚色 伊藤大輔
田中澄江
撮影 石本秀雄
美術 伊藤憲朔
音楽 團伊玖磨
助監督 渡辺実
出演 長谷川一夫 宝生弥五郎
田中絹代 妻 久
堀雄二 幾太郎
岸恵子 お染
大矢市次郎 幾右衛門
伊志井寛 与兵衛
東山千栄子 きの
浦辺条子 かよ
加藤雅彦 宝生石之助
木村国臣 宝生重次郎
打田典子 お妙
荒木忍 将軍 家慶
尾上栄五郎 松太郎
近衛敏明 金兵衛
上田寛 仙次

伊達三郎	栄蔵
横山文彦	相政
藤川準	三吉
大美輝子	お銀
橘公子	お繁
三田登喜子	その